



アクセスデータ

高松自動車道高松中央ICで降りサンポート高松小豆島フェリー乗り場へ。フェリーで小豆島の各港（土庄、池田、草壁）へ。小豆島のどの港行きに乗っても大丈夫です。各港からオアシスへの所要時間は、土庄港から車で15分、池田港から車で20分、草壁港から車で30分。

▲巨大な石の堀が目立。資料館を併設しているので観光バスもここを駐れる。

香川県・土庄町 みなとオアシス大坂城残石記念公園

小豆島観光の情報収集をしながら歴史ロマンに触れることができる

土庄町の「小島（おしま）まづくり協議会」が中心となって、小豆島の活性化のために活動しているオアシス。「大坂城残石記念公園」を拠点に、イベントの企画・運営、施設の管理などを住民が中心になって行っています。公園内の施設としては、大坂城築城当時の石の切り出し方・運び方がわかる資料館や、軽食コーナー、お土産コーナー、情報館などが揃っていて、小豆島の観光スポットのひとつになっています。特に大坂城の石垣になるはずだった400年前の石がそのまま残されていることには、大きな歴史ロマンを感じることができます。小豆島にお越しの際はぜひ立ち寄り歴史に触れて下さい。

▲情報館では小豆島の観光や交通情報を知ることができます。

▲ボート等で楽しむ際は北浜側のピクニックバーバーを利用できます。

オアシスDATA

運営団体/小島まづくり協議会（橋本昭一 会長）
 問い合わせTEL/0879-65-2865
 香川県小豆郡土庄町小海甲9 0 9-1
 営業時間/9:00~17:00
 定休日/無休 駐車場/30台

1日2回、引き潮時に海床から砂の道が現れる

1 エンジェルロード

1日2回、引き潮時に海床から砂の道が現れて小豆島から対岸の島に渡れるようになります。この島の名がエンジェルロード。今では人を結ぶ恋人たちの道として知られるようになったといわれています。

グルメも認める小豆島の名産品

2 そうめん

そうめん作りには歴史を凝らした製法で用いられる海苔が不可欠。小豆島は「海苔の生産地でもあるため、とても香りの良いものが作れるのです。夏は冷やして、冬は温かいものが食べられます。

景色を見ながら楽しく走る

3 瀬戸内海タートル・フルマラソン 全国大会

小豆島の歴史の物語となっている全国的なフィッシング大会。早を競うのではなく、楽しく走る（マラソン）の楽しさを味わうのが目的です。マラソン大会も開催されています。会場から大坂城が見えます。

問い合わせ
土庄町役場
TEL/0879-62-7004
小豆郡土庄町甲55分2

食事体験もできる

4 小豆島オリブ公園

海を眺めながら土庄の川に、オリブの木に囲まれたパティオ風の公園。遊歩、ハイキング、オリブ担がたり、地中海交流を味わうことが出来ます。ハイクラフト館ではリース作りなどの体験が出来ます。

問い合わせ
小豆島オリブ公園
TEL/0879-62-2200
小豆郡西村甲1641-1

みなとオアシス周辺ガイド

1日2回は遊べる砂の道エンジェルロード

大人気の産直市コーナーをはじめ、様々なイベントを開催

5 残石ふるさと市

「みなとオアシス大坂城残石記念公園」が企業・産直市、地域の交流と活性化を目的としたイベント。毎年、春と秋の2回開催されていて、島内の方を中心に多くの人が参加しています。メイン会場は、残石記念公園内の多目的広場。この当日は、夜のライトアップも実施したり、体験教室、餅つき大会なども開催したりしています。中でも人気の産直市コーナー。新鮮な海の幸や地元で採れた農作物が安く購入できるとあって、毎週一番の予約コーナーです。春・秋の小豆島観光の際は、ぜひご来場ください。なお、詳しい開催日などのお問い合わせはオアシスマスターへ。

400年前の記憶がよみがえる

6 大坂城残石資料館

豊田美喜の大坂城築城の間、小豆島から大量の石が土庄に運ばれました。その時の資料と、使われた石を展示しています。

問い合わせ
大坂城残石記念公園 管理事務所
TEL/0879-65-2865
入場無料 9:00~17:00（年中無休）

お土産として人気上昇中

7 石の小物

石の産地ならではの土産として、かわいい小物が人気です。かまゆりやペンタンの置物や、スランランなど、身近なものがあります。

問い合わせ
大坂城残石記念公園 管理事務所
TEL/0879-65-2865
小豆郡土庄町小海甲909-1